



# 熊本市 感染症発生動向調査 速報



医療機関がお盆休みなどで全体の報告数は少なめですが、咽頭結膜熱(プール熱)は倍近く増加しています。

## ●咽頭結膜熱(プール熱)について

発熱、咽頭炎、眼症状を主とする小児の急性ウイルス性感染症です。夏に多くみられますが、そのほかの季節でも報告がありますので、感染予防を心掛けましょう。

### ◆どんな病気？

アデノウイルスによる感染症で、主に5歳以下の小児に多い病気です。プール内や、タオルを共用することによっても感染するため、「プール熱」とも呼ばれます。

- ・症状………38℃～39℃の発熱、のどの炎症・痛み、眼の充血・痛み・目やになどが3～5日続きます。
- ・潜伏期間…5～7日
- ・感染経路…患者のくしゃみなどのしぶきを吸い込むことによる飛沫感染、ドアノブや手すりなどを介する接触感染で、とても感染力の強いウイルスです。
- ・流行期……6月ぐらいから増えてきて、7～8月に流行のピークを迎えます。



### ◆かかったらどうすればいいの？

- ・特別な治療法はありませんので、対症療法が中心になります。
- ・ほとんどは自然に治りますが、吐き気や頭痛、せきがひどいときには早めに医療機関を受診しましょう。

### ◆予防法は？

- ・手洗い、うがいが基本です。症状のある人との密接な接触は避けましょう。
- ・プールから上がったときはシャワーを浴び、目を洗い、うがいをしましょう。タオルの使い回しは避けましょう。
- ・症状のある人は、周りに広げないようにマスクや手洗いを徹底しましょう。

手足口病は警報解除になりましたが、引き続き感染防止に努めましょう。

期 間		2019年 32週		2019年 33週	
		8/5～8/11		8/12～8/18 (最新)	
疾患名 <small>(百日咳は平成30年1月1日より全数報告へ変更になりました)</small>	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ		2	0.08	0	0.00
RSウイルス感染症	流行中	52	3.25	39	2.44
咽頭結膜熱(プール熱)		6	0.38	12	0.75
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		21	1.31	15	0.94
感染性胃腸炎		45	2.81	31	1.94
水痘(みずぼうそう)		5	0.31	3	0.19
手足口病		33	2.06	14	0.88
伝染性紅斑(りんご病)		2	0.13	4	0.25
突発性発しん		15	0.94	8	0.50
ヘルパンギーナ		9	0.56	16	1.00
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)		0	0.00	1	0.06
急性出血性結膜炎		0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)		22	4.40	9	1.80
細菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎		2	0.40	2	0.40
マイコプラズマ肺炎		0	0.00	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)		1	0.20	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)		0	0.00	0	0.00